

# そすいさんぽ

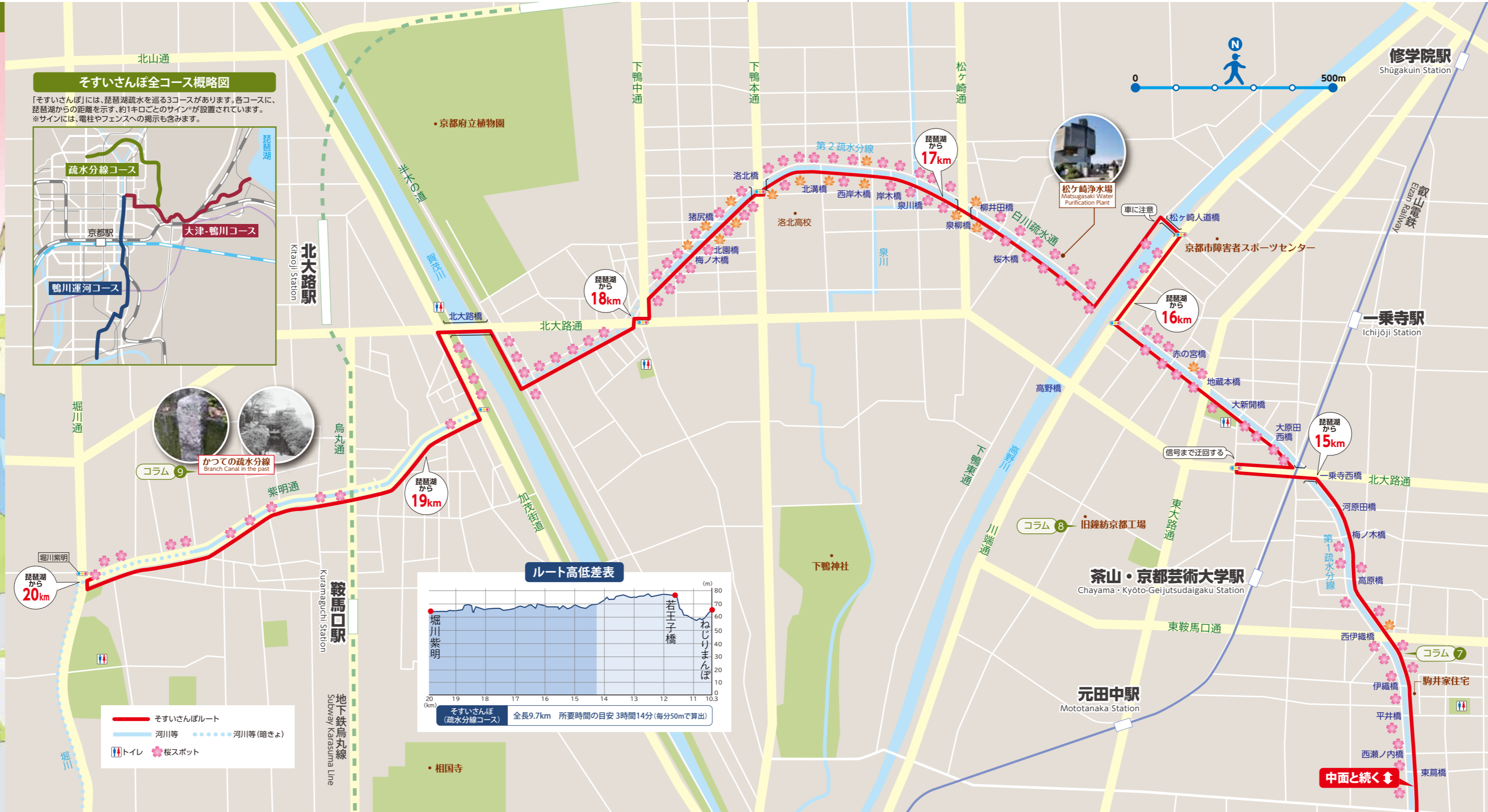
## CANAL WALK

### 疏水分線コース

Branch Canal Course

琵琶湖疏水  
LAKE BIWA CANAL

日本遺産  
JAPAN HERITAGE



コラム

**⑦ 等高線に沿って流れている琵琶湖疏水**

疏水分線は、鴨川や桂川など京都市内を流れる川とは違い、南から北に向かって流れており、一見すると標高の高い方に逆上っているように見えます。疏水のルートは実は、等高線に沿うように設計されており、疏水の水ができるだけ広い範囲に流れるよう、水路の勾配が緻密に計算されているのです。



**⑧ 旧鐘紡京都工場**

明治41(1908)年に操業を開始した鐘紡京都工場は、原料の洗浄などに疏水の水を利用していました。現在の左京区高野東開町辺りが、その工場跡に当たります。



**⑨ かつての疏水分線(紫明通)**

琵琶湖疏水が完成した頃、疏水分線は小川頭(現在の北区紫野宮東町)までの約8.4kmでした。戦後、賀茂川以西の水路は廃止になり、紫明通となっています。現在は平成の堀川水辺環境整備事業により、第2疏水分線から引いた水は賀茂川の下を通り、紫明通の中央分離帯を流れています。紫明通の北側には、「疏」と刻まれた境界杭がいくつも残っています。





**疏水分線とは**

沿線各地への水力利用、かんがい用水、防火用水の供給を目的に設置されました。熊野若王子神社から浄土寺橋に至る疏水分線沿いの遊歩道は、京都大学の哲学者・西田幾多郎が思索にふけたとされることになみ、「哲学の道」と呼ばれています。



- そすいさんぼルート
- そすいさんぼルート 大津-鴨川コース
- びわ湖疏水船 乗下船場
- トイレ
- 桜スポット
- 紅葉スポット
- 琵琶湖疏水
- 琵琶湖疏水(筒きょ・トンネル)
- 河川

### コラム

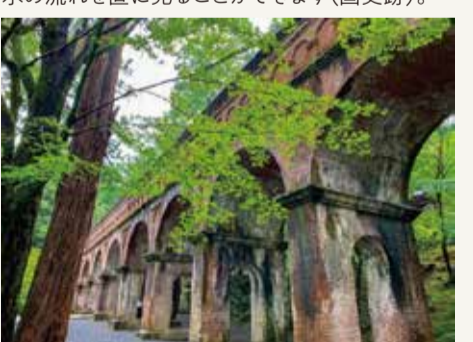
**1 南禅寺界限別荘群**

南禅寺の塔頭跡地に、近代最高峰の作庭家七代目小川治兵衛(植治)の活躍もあり、疏水の水を利用した近代庭園群が形成されました。山縣有朋の別邸である無鄰菴や平安神宮の神苑などがあります。



**2 水路閣**

名刹・南禅寺の境内にかかるアーチ型の水路橋で、明治21(1888)年に完成しました。蹴上から若王子へ水路を通すに当たり、田邊朔郎が地形や景観を考慮して設計したものです。橋上からは疏水の流れを直に見ることができます(国史跡)。



**3 扇ダム**

第5トンネルと第6トンネルの間にある「扇ダム」。主にここから南禅寺界限別荘の庭園群に引水され、防火用として水利用の申請を受けています。※一般の方は立入りできません。



**4 旧若王子プール**

琵琶湖疏水のユニークな活用方法としてプールがありました。昭和40年代までは、市内小学校にプールはなく、水泳の授業は、豊富な水量がある疏水を活用した若王子プール、南禅寺プール、東川船溜などで行われていました。



**5 真如堂の石灯籠**

真如堂の元三大師堂の前にある「工學博士田邊朔郎君頌徳紀念」と刻まれた石灯籠です。疏水のおかげで水不足に困らなくなったお礼として、白川村(当時)の村長が奉納しました。



**6 幻の工業都市計画**

北垣国道知事は、疏水の水で水車を回して工業機械の動力に利用するため、鹿ヶ谷・哲学の道近辺に工業地帯の整備を考えました。しかし、整備工事には多額の経費が掛かり、また水力発電所の建設計画が持ち上がったため、水車による工業都市計画は実現しませんでした。



琵琶湖疏水線路インクライン以西至鴨川平面図(明治20年頃、「田邊家資料」)。南禅寺北側などの土地に朱筆で「工場敷地」と記されている。